

2015年
2月
No.196

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

近畿地協2015春闘学習会

闘ってよかった 来年も続けていきたい春闘に

2月14日から15日にかけて、京都市・ホテル本能寺で、近畿地協2015春闘学習会が開かれ、近畿・北陸・山陰の各地から43人が集まりました。さざなみネットから浦谷分会長と山崎書記長が参加しました。(日程下記)

岡野議長はあいさつで「今年の春闘は日本のすべてで格差是正が求められている。一部の大企業はぼろ儲けをしているのに、そこで働く仲間はひどい労働条件で働かされ、消費税増税などで中小企業は疲弊し庶民の生活は大変、これでは経済もよくなる。すべての人の賃金底上げが必要だ。賃上げ・ベアがあったのを知らない、忘れてしまうくらい前という仲間が多いが『闘ってよかった、来年も続けていきたい』という春闘にするため学習してみんなでたたかおう」と訴えました。

続いて、伊藤全労連雇用・労働法制局長が「2015春闘情勢について」と題し、スクリーンを使って豊富な資料をもとに講演されました。

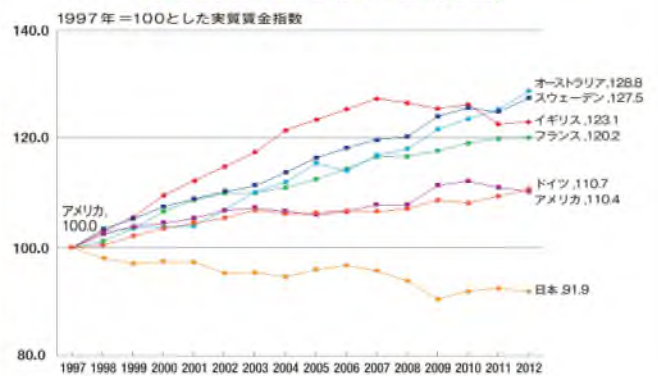
「先進国は全て物価上昇を上回る賃上げが行われている中で、日本だけ賃金が上がらず、低所得者層が増大し、実質賃金は18カ月連続して下がり続けている。そのうえ生活必需品の上昇が顕著になっている」ことを指摘、今春闘での大幅賃上



岡野議長のあいさつ

げが一層切実になっていることを強調(参考、下図/実質賃金の変動の国際比較、次頁図/大企業の内部留保と民間平均賃金の推移)。さらに「非正規労働者の劣悪な賃金・労働条件が正規労働者の労働価値を押し下げている」として、(次頁へ)

物価の影響を考慮しても日本だけ賃下げ… (実質賃金の変動の国際比較)



出典：OECD統計より作成。民間産業計の賃金(時間外手当・一時金含む)。イギリスは製造業のみの変動を、それぞれの国の消費物価の影響を調整し指数化した。日本のデータは毎月勤労統計調査による。



招き猫 岩波 美智子さん 画

- 14日(土)**
- 開会・議長挨拶
 - 講演「15春闘をめぐる情勢」
 - 講師 伊藤圭一 全労連雇用・労働法制局長
 - 特別報告 「給与規定のいちぶ改悪とのたたかい」 (京都北都信金従組の仲間)
 - 「不当解雇撤回闘争支援」の訴え (武生信金職組の仲間)
 - 「使用期間満了解雇闘争支援」の訴え (大同信組の仲間)
- 15日(日)**
- 問題提起・分散会・夕食交流会 (大同信組の仲間)
 - 分散会・全体会議・閉会

2015年春闘学習会 日程

私たちに情勢を変える力がある！

(前頁から) アメリカのマグドナルドなどファーストフード労働者の運動を映像で紹介されました。米国ファーストフード労働者は「15ドルと労働組合をかちとろう！」とのスローガンで、最低賃金15ドル(約1,700円)と、少数組合には認められていない交渉権の獲得をめざし、全米各地で仲間づくりの運動を展開しています。

伊藤講師は、組合員拡大の具体的実践例や、春闘に向けて「累積赤字でも賃上げをしている会社がいくらかもある」「賃上げは労働者への投資であり、ペアゼロは労働者の命を奪う愚かな経営である」「私たちに情勢を変える力がある」と参加者を大きく激励しました。

講演に続いて、京都北都信金従組の仲間が、「給与規程の一部改定による中高年層の大幅賃下げ」提案とのたたかいを特別報告。「経営者による大口不正融資を公益通報して懲戒解雇」された武生信金職組の仲間と、「新入職員の試用期間満了で解雇された」大同信組の仲間が裁判闘争への支援を訴えました。

阿部事務局長による問題提起の後、3つの班で行なわれた分散会では、講演の感想、職場実態や2015春闘への思いなどを出し合い交流しました。



講演をする伊藤全労連雇用・労働法制局長

(全体会や分散会で出された意見)

- これから社会を背負っていく若者を、会社の都合で簡単に辞めさすことに怒りを覚える。
- 経営者はコンプラ違反でも何のお咎めもないのに、労働者は事務ミスですぐ処分するなんておかしい。
- 地域の人口が減り地域経済が縮小しているのに、業績目標だけ右肩上がりでは、こなせるはずがない。
- 「全員営業」という口実で渉外手当をなくそうとしている。

翌日の最後の全体会議では、車谷副議長が、「声かけを続けて組織拡大を図り、強い交渉力をもつ労働組合をつくって山積する難問を解決していこう」と閉会のあいさつを行い、ガンパロウを三唱して終了しました。

(参加者の感想)

- 若者の現状が聞いて良かった。10数年賃上げがなく、地域衰退のなか悩んでいる。やはり対話が基本で大事だ。
- 人事制度の改定が多くのところ提案されている。安倍政権による労働法制の改悪の先取りである。労働法制が不十分で今でも大変な状況なのに、さらに改悪されたら深刻になる。春闘の中でがんばっていきたい。



ひととき

長浜盆梅展に行ってきた。長浜盆梅展は1952年から始まり今年で64回目。歴史・規模ともに日本一の盆梅展で、新春の風物詩として親しまれ、今年は1月10日から3月10日まで開かれている。



高さ3m近い巨木や樹齢400年を超える古木の盆栽が、約300鉢の中から開花時期に合わせて常時約90鉢、純和風の座敷にずらりと展示してある。床の間には梅を詠んだ詩歌の軸が掛けられている。堀口大聖、野口雨情、青木月斗、瀬戸内寂聴、森清範、田辺聖子などの詩や歌、俳句などを観賞しながら回るのも楽しみである。

慶雲館即時 堀口 大聖
 ばくもばくの時も 長浜の金梅でありたい
 年古りて幹枯れ朽ちて 花凍と色に香に消え

会場となる慶雲館は、明治天皇昭憲皇太后的行幸啓のために建てられた長浜の迎賓館、伊藤博文の命名で国の名勝に指定されている。ちょうど雪が降り7代目小川治兵衛が手掛けた広大な池泉回遊式庭園の雪景色が見ごろであった。新春のよいひとときを過ごした。

(山崎)